「社会保障の地理学」による地域ケアシステム構築のための研究

宮澤　仁 / MIYAZAWA, Hitoshi

文教育学部人文科学科

■専門分野　地理学
■キーワード　少子高齢化社会、地域ケア、社会保障、地域計画、地理情報システム (GIS)

連絡先　http://www.cf.ocha.ac.jp/goss/goss.html

研究内容

■概要（背景・目的・内容）

超少子高齢化への対応は、わが国喫緊の政策課題であり、世界的にも大きな注目を集めている。日本の社会保障制度改革では、これまでその中心であった医療、介護、年金の改革に加えて、雇用（女性や若者、障がい者などすべての人々が対象）や子育て支援、住宅困窮への対策が課題とされている。そして具体的な取り組みにおいては、多分野・多職種を連携させて包括的な生活支援の仕組みを「地域づくり」を通して地域に構築することが目標とされている。このことを踏まえて、以下の研究に国内の研究者 18 名とともに取り組んでおり、2015 年度からは科学研究費補助金 基盤研究 (A)(一般) の支援を受けている。

研究目的

1. 人文地理学においてこれまで取り組まれてきた介護や保育、医療、保健、居住等の研究を連携させて、わが国社会保障の今日的政策課題である地域ケアシステム構築のための実証的研究に取り組む。
2. 第一の取り組みを通して、地理的・空間的視点からの社会保障研究として「社会保障の地理学」を体系化する。

■応用・将来展望

1. 人文地理学における社会保障研究を統合するとともに、全国分析と特定地域の事例研究から得られた成果を組み合わせることで、社会保障の最重要政策課題である地域ケアシステムの地域特性に応じたあり方を解明することができる。
2. 現在、社会保障の研究・実践において地理的・空間的視点の導入は強く求められており、その期待に応えることができる。
3. 超少子高齢社会を支えるための「地域づくり」に貢献することができる。上記課題２により、「真に包括的」な地域ケアシステムの構築を検討できる。さらに、同３により、地域の持続性を議論する上で有益な材料を得ることができる。

■活動実績

日本地理学会の大会にあわせて年度ごとに研究会を２回開催し、成果報告・議論を行っている。2015 年度の主な活動実績としては、国内の自治体を対象に『自治体による地域包括ケアシステム構築に関わるアンケート調査』を実施した。

主要研究成果

· Miyazawa, H. 2015. Establishment of small-scale multifunctional in-home nursing care and facility locations: The case of Nagasaki City. Geographical Reports of Tokyo Metropolitan University 50: 55-63.（紀要論文、査読なし）
· 宮澤　仁 2015. 大都市圏郊外の高齢化とまちづくりの課題. 日野正輝・香川貴志編『変わりゆく日本の大都市圏－ポスト成長社会における都市のかたち－』ナカニシヤ出版. 179-196.（研究書、査読なし）
·中井　瞳·宮澤　仁 2016. 高齢者を「呼び寄せる」街 横浜市都筑区. 多摩ニュータウン研究 18: 43-57.（学術雑誌論文、査読あり）